プロフィール

講座1
はなり　さちこ
羽成　幸子
（カウンセラー・エッセイスト）

祖父母，父母，姑，身内５人の介護体験をもとに，介護する側，される側の心のあり方をユニークな発想と介護哲学で分かりやすく紹介，講演を行う。「介護することは，自分の老いのリハーサル」と語り，全国各地で講演し，年代を問わず人気がある。
現在，１男３女は成人し，親業卒業。自分の介護を意識しながら夫との共同生活を実践中。
主な著書に『介護の達人』（文春文庫），『介護に教科書はいらない』（佼成出版社），『「自分の介護」がやってきた』（春秋社），『勇気が出る介護の本』（C＆R研究所）など。

講座2
なかくら　しげき
中倉　茂樹
（徳島県同和地区青少年団体連絡協議会『止揚の会』事務局）

1999年徳島県西部青年の会『友輝』設立。
2000年徳島県同和地区青少年団体連絡協議会『止揚の会』事務局。
2004年徳島県人権・同和教育講師団講師。
自らの経験から“部落差別をなくすこと”に人生を賭け，小学校高学年からおじいちゃん，おばあちゃんまでに，熱い思いを伝えたい・・・。“刺激的ナイスガイ”が，若さを生かし，自らの部落差別との闘いをユーモアをおりまぜながら熱く語る！

講座3
いけだ　かよこ
池田　香代子
（ドイツ文学翻訳家・口承文芸研究家）

東京都立大学人文学部ドイツ文学科卒業。9.11とアフガン報復攻撃を受けて出版した『世界がもし100人の村だったら』がベストセラーとなり，その印税でたちあげた「100人村基金」で，NGOや日本国内の難民申請者の支援をしている。世界平和アピール七人委員会メンバー。
主な著書に『世界がもし100人の村だったら』1～4（マガジンハウス），『11の約束えほん教育基本法』（ほるぷ出版），主な訳書にゴルデル『ソフィーの世界』（NHK出版），『完訳クラシックグリム童話』（講談社）など。
1998年，ピリンチ『猫たちの森』（早川書房）で第１回日独翻訳賞を受賞。

講座4
まつざき　みちのすけ
松崎　運之助
（元・夜間中学校教諭）

中国東北部（旧満州）生まれ。
中学校卒業後，三菱長崎造船所に就職。働きながら定時制高校に通学。卒業後，明治大学二部文学部入学。町工場などで働きながら同大学卒業。その後，江戸川区立小松川第二中学校夜間学級勤務を経て，足立区立第四中学校夜間学級勤務後，2006年3月定年退職。現在は執筆，講演活動を行っている。
NHKテレビ「スタジオ102」，テレビ朝日「徹子の部屋」などに出演。著書に『学校』，『幸せになるための学校』など多数。また，山田洋次監督の松竹映画『学校』の原作モデルで制作協力にも携わった。

講座5
なかの　さよこ
中野　佐世子
（NHK手話ニュースキャスター）

高校生のときに手話と出逢う。大学では幼児教育（障害児保育）を専攻。卒業後，保健所や児童館で母親へのサポート・子どもへの接し方等を指導した。
1990年より，NHK教育テレビ「手話ニュース」にキャスターとして出演。
現在，淑徳短期大学，ルーテル学院大学の兼任講師として介護技術や障がい者とのコミュニケーション技術の指導を行い，東京家政学院大学では，障がい児保育の講義を行っている。
2000年に『手話ソングブック』を出版，幼稚園教諭・保育士を対象に，手話ソングの指導を行っている。また，06年に『手話ゲームブック』を出版，手話との新しい出会い方，楽しくすぐ覚えられる方法を提唱している。

講座6
よしかわ　せいじ
吉川　誠司
（財団法人インターネット協会インターネット・ホットラインセンター副センター長，WEB110代表）

平成８年にボランティアサイト「WEB110」を開設し，ネット詐欺の告発やネットストーカーの調査を始め，様々なトラブルの相談にあたってきた。現在は，警察庁の委託により2006年から運用を開始したインターネット・ホットラインセンターの副センター長として違法・有害情報の対応にあたるかたわら，プライベートな活動として，全国各地の教育委員会やＰＴＡ主催の講演会を通して，子どもたちに対する情報モラル教育や，保護者に対するリスクインフォメーションを実施している。
著書に，『WEB110これがネット犯罪の手口だ』（ソフトバンクパブリッシング）など。

ヒューマンライツ・セミナー受講申込書（ＦＡＸ用）

住　　所	〒　　－
氏　　名	（ふりがな）
電話番号 ＦＡＸ番号	電話： FAX：
申込講座	◆受講希望の講座に○を付けて下さい。（複数受講可） ・講座１　・講座３　・講座５ ・全６講座 ・講座２　・講座４　・講座６

ＦＡＸ送信先０２９－３０１－３１３８

問い合わせ
茨城県人権啓発推進センター
〒310－8555　水戸市笠原町978番6
TEL：029－301－3136　　E－Mail：koso5@pref.ibaraki.lg.jp